

NEWS RELEASE

POLA MUSEUM ANNEX

2012年2月16日

「ポーラ ミュージアム アネックス展 2012 - 華やぐ色彩 - 」 若手女性アーティスト 4名によるグループ展を 3月31日(土)より開催

ポーラ ミュージアム アネックス (中央区銀座1丁目) では、2012年3月31日(土)から4月22日(日)まで、「ポーラ ミュージアム アネックス展 2012 - 華やぐ色彩 - 」を開催します。

本展では過去に公益財団法人ポーラ美術振興財団での若手芸術家の在外研修に対する助成において、採択されたアーティストの作品を展示します。ポーラ ミュージアム アネックスでの発表を活用して今後の活動に活かしていただきたいという趣旨から、2004年に開始して今回で7回目となります。

今回は『華やぐ色彩』をテーマに美術評論家の木島俊介氏 選考のもと、4名の女性アーティストによる絵画からインスタレーションまでテーマに沿った色彩豊かな作品がギャラリーを彩ります。

若手芸術家の在外研修に対する助成とは、公益財団法人ポーラ美術振興財団が毎年実施している活動のひとつで、35歳以下のアーティストを対象に海外での研修を援助し、日本の芸術分野の専門性を高めていこうとするものです。

ポーラ ミュージアム アネックスでは若手アーティストたちに発表の場を新たに提供することで、より一層、活発な創作活動ができるように支援してきました。今回は特に、すべての女性たちがいきいきと輝くための活動をサポートしたいというポーラのAAA(アンチ エイジング アライアンス)宣言(※注)の一環として若手女性アーティストのグループ展を開催します。

(※注)『AAA(アンチ エイジング アライアンス)宣言』とは、「美しくありたい」と願うすべての女性たちを様々な活動を通して応援することを目的として2011年の1月に発表しました。



1	2
3	4

1. 徳永 陶子

無限 《光》 2009年

キャンバス/ヴィニール絵の具

2. 梅原 麻紀

《Homes in Mum-Bay》 2010年

シルクスクリーン、布、メタル

3. 野口 香子

《あるひとつの祈り》 2011年

1000枚の赤い紙/1000枚の緑の紙
/1000の呼吸

4. 橋爪 彩

《Chloris》 2011年

パネル/油彩



【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室

TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】 ポーラ ミュージアム アネックス

TEL 03-3563-5501

|| 展覧会概要 ||

展覧会名	「ポーラ ミュージアム アネックス展 2012 - 華やぐ色彩 -」
会 期	2012年3月31日(土) - 4月22日(日)【23日間】*会期中無休
会 場	ポーラ ミュージアム アネックス 〒104-0061 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル 3階
アクセス	東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ 東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分 JR 有楽町駅 京橋口改札口徒歩5分
主 催	株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス
監 修	木島 俊介氏 (美術評論家)
開館時間	11:00 - 20:00 (入場は 19:30 まで)
入 場 料	無料

|| 監修者コメント ||

ポーラ ミュージアム アネックス展は、公益財団法人ポーラ美術振興財団が、1996年以来実施している「若手芸術家の在外研修助成」を受けられた方々の研修の成果をご披露いただくものとして毎年開催され、今回で第3回展を迎える。2010年の第1回展はポーラ銀座ビルの新たな落成を祝う意味から、「祝祭」と題され、第2回展には「早春」の題が与えられたが、深い意味はなかった。しかしこの展覧会が、春という佳き季節に開催されることから、開花のごとき明るいイメージが自然に生じたのである。今回の第3回展にも「華やぐ色彩」の題が付けられているが、出展された作品の個性はそれぞれに異なっていて、この主題ですべてを包み込めるわけではもちろん無く、徳永陶子さんの優しい色彩、橋爪彩さんの鋭い色彩、野口香子さんの強い色彩、梅原麻紀さんの沈着な色彩、このような多様な色彩の奥にはさらに深い内容がある。「華やぐ色彩」という語には、監修者としては、アーティストの皆様の華やかな活躍を期待する意図をも込めているのである。

木島 俊介

|| 監修者プロフィール ||

木島 俊介

美術評論家、Bunkamura ザ・ミュージアム プロデューサー、共立女子大学名誉教授。

1939年鳥取県生まれ。慶応義塾大学文学部(美学・美術史専攻)卒業。フィレンツェ大学、ニューヨーク大学大学院、同美術史研究所に学ぶ。1970年創立の万国博美術館

(現・国立国際美術館)をプロデュースして以来、数多くの美術館設立と美術展の企画開催、カタログの制作執筆に携わる。

|| 公益財団法人ポーラ美術振興財団の活動の概要 ||

公益財団法人ポーラ美術振興財団では、日本文化の向上・発展に寄与することを目的に、美術分野などの若手芸術家及び美術の専門職員に対する助成活動を行っています。

【公益財団法人ポーラ美術振興財団助成事業について】

美術分野における研究活動テーマを広く一般から募集し、有識者で構成される選考委員会によって採択・助成し、日本文化の向上、発展に寄与することを目的に、以下の活動を行っています。

【参考資料：平成 23 年度助成採択内容】

	(採択数)	(助成金額)
(1)若手芸術家の在外研修に対する助成	16 件	4,902 万円
(2)美術館職員の調査研究に対する助成	12 件	2,170 万円
(3)美術に関する国際交流の助成	11 件	1,983 万円
計	39 件	9,055 万円

※財団設立以来平成 23 年度までの助成件数は 610 件。

※ 今年度の贈呈式は 2012 年 3 月 19 日(月)にポーラ ミュージアム アネックスで行います。
詳細は後日リリースにてご案内します。

|| 作家プロフィール ||

徳永 陶子 (Toko TOKUNAGA)

1967 年 東京都生まれ

1991 年 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業

1996 年 パリ国立美術学校卒業 (パリ・エコール・デ・ボザール)

2002 年 ポーラ美術振興財団在外研修員 (フランス)

[主な展覧会]

2000 年 「21 世紀への誓い」フランス文化庁主催(パリ、フランス)

2007 年 丸善丸の内ギャラリー (以降、毎年「記憶」をテーマに個展) (東京)

2008 年 NY Coo Gallery 公募展「イベリカ賞」大賞受賞 (NY、アメリカ)

2008 年 「ダンテ神曲挿絵展」ゴヤ美術館企画 (カストル、フランス)

2010 年 「ミレー『晩鐘』創作 150 周年記念展」

バルビゾン市主催 (バルビゾン、フランス)



無限《大地》2009 年
キャンバス/ヴィニール絵の具

梅原 麻紀 (Maki UMEHARA)

1976 年 愛知県生まれ

2000 年 名古屋造形芸術大学美術学科卒業

2002-05 年 文化庁新進芸術家海外留学制度研修派遣生 (ドイツ)

2006 年 デュッセルドルフ芸術アカデミー美術学科卒業 (ドイツ)

2006 年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員 (ドイツ)



《Homes in Mum-Bay》2010 年
シルクスクリーン・紙

[主な展覧会]

- 2009年 「ノルトライン=ヴェストファーレン州・グラフィック賞受賞展」
Ehemalige Reichsabtei Kornelimünster (アーヘン、ドイツ)
- 2010年 個展「デュッセルドルフ市芸術家奨励賞受賞展」
Kunstraum Düsseldorf (デュッセルドルフ、ドイツ)
- 2010-11年 「APOGEE (nüans)」 Villa Romana (フィレンツェ、イタリア)、Kunsthalle Düsseldorf
(デュッセルドルフ、ドイツ)、JB Jurve (LA、アメリカ)、ISCP (NY、アメリカ)、
Polistar (イスタンブール、トルコ)

橋爪 彩 (Sai HASHIZUME)

- 1980年 東京都生まれ
- 2006年 東京芸術大学修士課程絵画専攻(油画)修了
- 2006年 文化庁新進芸術家海外留学制度研修派遣生(ドイツ)
- 2007年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(ドイツ)
- 2008年 吉野石膏美術振興財団在外研修員(フランス)



《Girls Start the Riot》2010-2011年

パネル/油彩

[主な展覧会]

- 2005年 「αMプロジェクト vol.2 - secret girls - up&down 」 artspace Kimura ASK? (東京)
- 2006年 「VOCA 展 2006」東京都上野の森美術館 (東京)
- 2009年 「第一回所沢ビエンナーレ - 引込線 -」(埼玉)
- 2011年 個展「After Image of the Red Shoes」イムラアートギャラリー (東京)

野口 香子 (Koko NOGUCHI)

- 1970年 埼玉県生まれ
- 1993年 女子美術大学絵画科日本画専攻卒業
- 2002年 文化庁新進芸術家在外研修員(フランス)
- 2003年 公益財団法人ポーラ美術振興財団在外研修員(フランス)
- 2004年 パリ国際大学都市アーティストプログラム(フランス)
- 2011年 第5回アルテラグーナアートアワード特別賞受賞(イタリア)

[主な展覧会]

- 2004年 「VOCA 展 2004」東京都上野の森美術館 (東京)
- 2010年 「創立110周年記念展」女子美ミュージアム (神奈川)
- 2011年 「第5回アルテラグーナアートアワード」
アルセナーレ (ヴェネツィア、イタリア)
- 2012年 「ローマコンテンポラリー」MACRO Testaccio (ローマ、イタリア)



《あるひとつの祈り》2011年

1000枚の赤い紙/1000枚の緑の紙
/1000の呼吸